

## 第2回戦略会議レポート 2016, 5, 18 湯沢町役場



### 雪国観光圏のDMOとしての役割とは？

観光協会は広く浅いプロモーションとなり、費用対効果も見えづらいものです。全部を宣伝するのではなく、ブランドコンセプトを中心軸として雪国の価値がわかる人に向けた、食事や滞在メニューを充実させて、ファンになってもらいリピーターを増やしていくこと。そうなればインバウンドやいろいろなお客様が付いてきてくれるはず。地域とお客様が相思相愛の関係をつくり、地域力を高めることがDMOとしての雪国観光圏の役割です。



体験メニュー 宿泊魅力 食魅力 ワンストップ窓口

### ブランドストーリーを映像にしました！

今井薫さん(ターゲット像)は、新しい体験や刺激よりも、なじみ深さやつながりを求めて雪国へ訪れ、雪国文化体験や生活に触れたり、普段仕事で忙しく疲れているので、ぼーっとする時間も欲しいと思っています。そんな体験ができるツアーを今回津南町で撮影し、雪国観光圏のブランドストーリーとして約2分の映像にまとめました。

飯山線から見える景色をゆったり眺めながら、向かった先では、大根つぐらを見せてもらったり、民宿のおばあちゃんからいろんなお話を聞きながら一緒にあんぽをつくったりします。

### 雪国観光圏の理念

#### 『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出します。

### 雪国観光圏のブランドコンセプト

#### 『真白き世界に隠された知恵に会う』

### Airbnb(エアビーアンドビー)ってご存知ですか？

今、世界的にAirbnb(現地ホストの家に泊まる暮らすような旅の予約サイト)の利用が高まっており、今あるホテルでは物足りなくなったお客様が、民泊を選ぶケースが急増しています。

ヘルシンキでは家庭の手料理を食べるなどのニーズがあり、衛生上の問題もありながらも民泊は進んでいます。Airbnbは世界各国のホストとゲストを繋げる急成長しているサイトですが、例えば空いているマンションや別荘のオーナーからAirbnbサイトに登録されたらどうなるでしょうか。町の雰囲気を守るため民泊を条例で禁止する地域もあり、お客様のニーズと、守るべきこと、ダメなことを見分けていく必要があります。



## 各ワーキンググループのゴールイメージ。

- 雪国文化研究WG  
雪国文化を伝えるガイドの育成のため、ガイド教本の作成や、ガイドの認証制度を設ける。
- 二次交通検討WG  
ローカルな飯山線こそ味があり、車内で雪国らしい温かなもてなしと会話ができる人がいると観光列車として大きな武器になります。
- 食のブランド化WG  
和食の中心地は雪国であることをアピール！旅館・飲食店をレベルアップし、宿泊に繋がるようにしていきます。  
食のイベント、ガストロノミーフェアを開催予定。
- 観光協会連携WG  
事務局長会議、旅行商品造成委員会、女性コーディネーター研究会を開催。
- 啓蒙活動  
地域住民向けに観光地域づくり説明会を各地域で開催し、観光圏の事業を幅広い方々へ知っていただきます。



## 雪国観光圏のHPをリニューアルします！

雪国観光圏のターゲット像：今井薫さんは、宿泊や食も質の良いものを好み、パッケージツアーではなく、個人旅行を希望しています。そんなニーズに応えるためには、(一社)雪国観光圏がワンストップ窓口となり、滞在プログラムを充実させ、雪国A級グルメの食、サクラクオリティーの宿をコーディネートして手配するイメージです。雪国観光圏のHPを見て予約したくなるようなサイトにリニューアルし、“あなただけの雪旅”をご紹介します。

雪国HPでの紹介イメージ

**真白き世界に贈られた知恵と出会う  
あなただけの雪旅を**

1日目

お昼ごはんは、雪国A級グルメ。認定を受けた14の飲食店で永久に残したい本物の味が食べられます。

お宿はサクラクオリティ認定の旅館。少し早めにチェックインしてのんびりと温泉三昧。

旅館の夕食も雪国A級グルメ。圏内には認定を受けたお宿があります。安心・本物、永久に残したい味をぜひご堪能ください。

2日目

朝食は朝ごはんプロジェクト。県内産のコシヒカリ、食材を使い、温泉郷ごとに工夫をこらした朝ごはんを食べられます。

8000年前から雪が降り続いていた雪国。氷人遺跡はどうやって冬を越してきたのだろう。そこには雪国ならではの知恵があります。季節に応じた雪国文化を体験できる滞在プログラムを用意しています。一泊前までに申込ください。2名様から旅行

日帰りから連泊まで、ご希望に応じて、あなただけの雪国ステイを予約・手配します。気軽に相談ください。  
雪国観光圏 TEL 025-785-5353 MAIL info@snow-country.jp

雪国A級グルメサイト/サクラクオリティサイト

**真白き世界に贈られた知恵と出会う  
あなただけの雪旅を**

**晩秋の雪国プログラム**

雪国の晩秋は冬に備えた保存食づくりや雪室づくりなど冬支度の知恵が凝縮した季節です

野沢菜漬けのお手伝い  
出来上がったらおすそ分け  
2名から旅行 4000円/1人  
申込は1週間前まで

干し柿のお手伝い  
出来上がったらおすそ分け  
2名から旅行 4000円/1人  
申込は1週間前まで

キノコを探って  
キノコ汁をつくろう  
2名から旅行 4000円/1人  
申込は1週間前まで

日帰りから連泊まで、ご希望に応じて、あなただけの雪国ステイを予約・手配します。気軽に相談ください。  
雪国観光圏 TEL 025-785-5353 MAIL info@snow-country.jp

連絡先：一般社団法人雪国観光圏事務局  
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1  
TEL025-785-5353 FAX025-785-6767